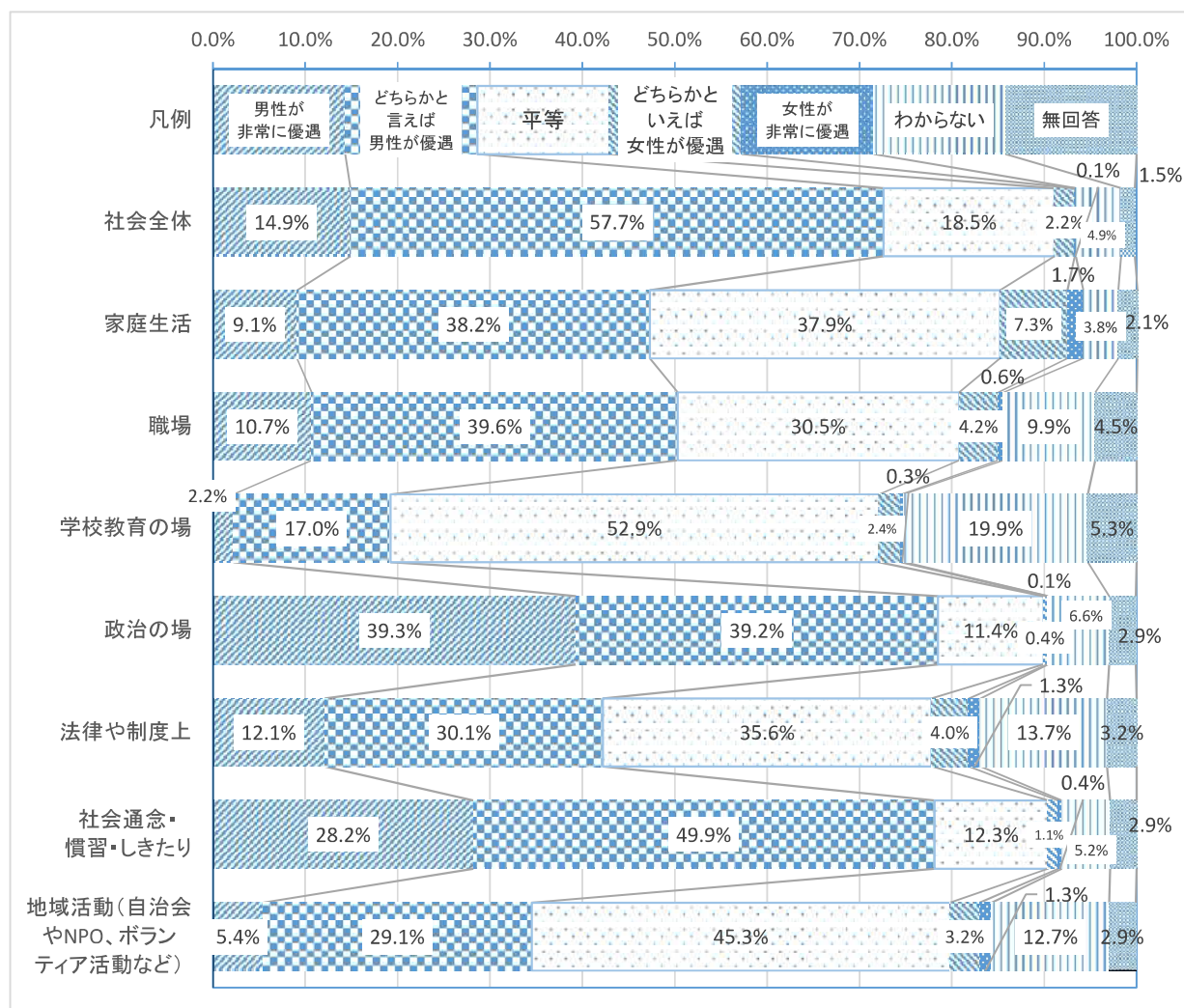


第1章 男女共同参画に関する意識

(1) さまざまな場における男女の地位の平等感

問8 あなたは、男女の地位は平等だと思いますか。
ア～クのそれぞれについて1つずつ選んで○をつけてください。



【問8の総括】

○「平等」と回答した人の割合は、「社会全体」では、**18.5%**となっている。

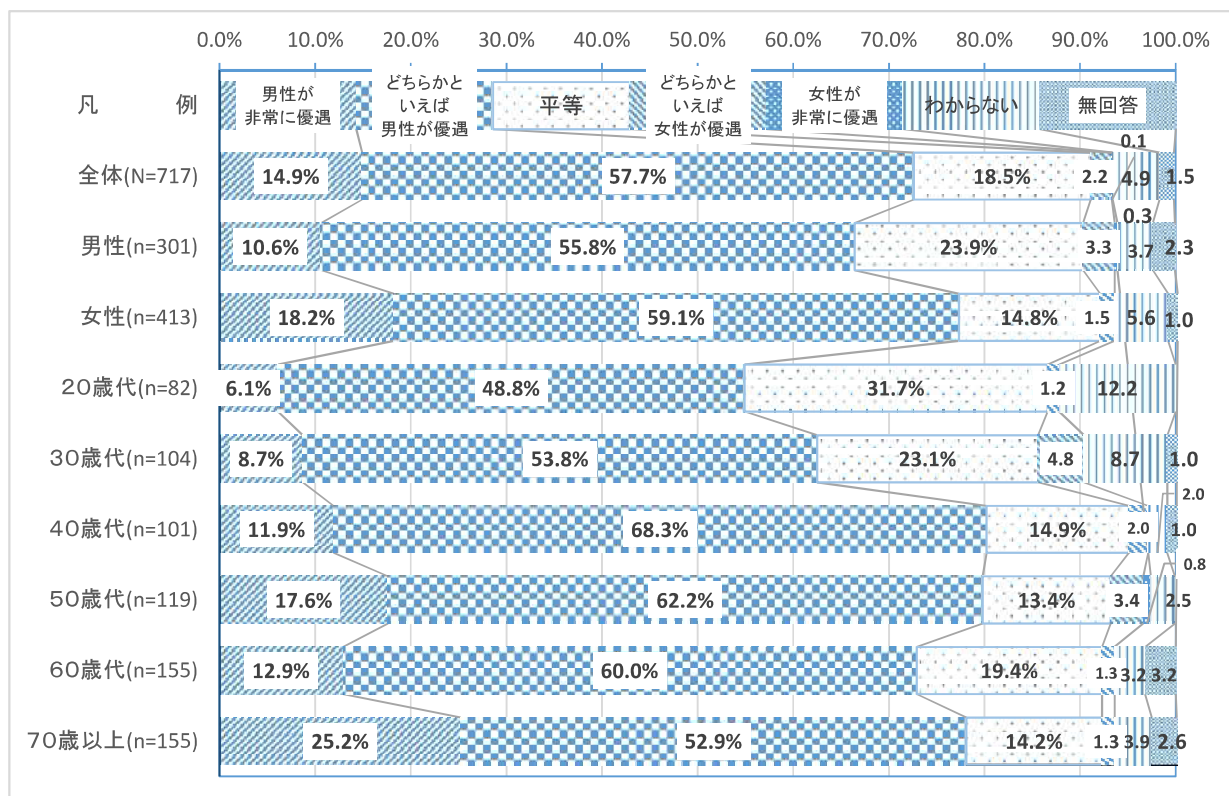
具体的な項目で最も高かったのは「学校教育の場」で**52.9%**、次いで「地域活動（自治会やNPO、ボランティア活動など）」が**45.3%**、「家庭生活」が**37.9%**と続いている。

○『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は、「社会全体」では、**72.6%**となっている。
具体的な項目で最も高かったのは「政治の場」で**78.5%**、次いで「社会通念・慣習・しきたり」が**78.1%**、「職場」が**50.3%**、「家庭生活」が**47.3%**と続いている。

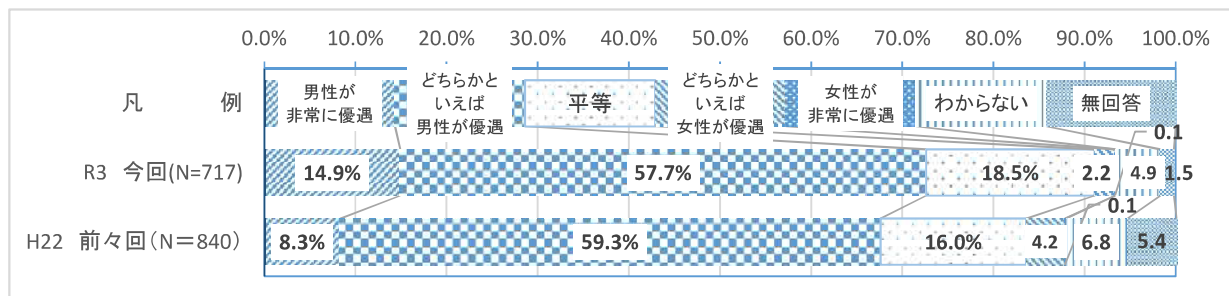
○『女性の方が優遇されている』と回答した人の割合は、「社会全体」では、**2.3%**となっている。
いずれの分野においても低く、最も高い「家庭生活」でも**9.0%**となっている。

※『男性（又は女性）の方が優遇されている』＝「男性（又は女性）の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性（又は女性）の方が優遇されている」（以下、特に断りのない限り同様とする。）

ア) 社会全体では

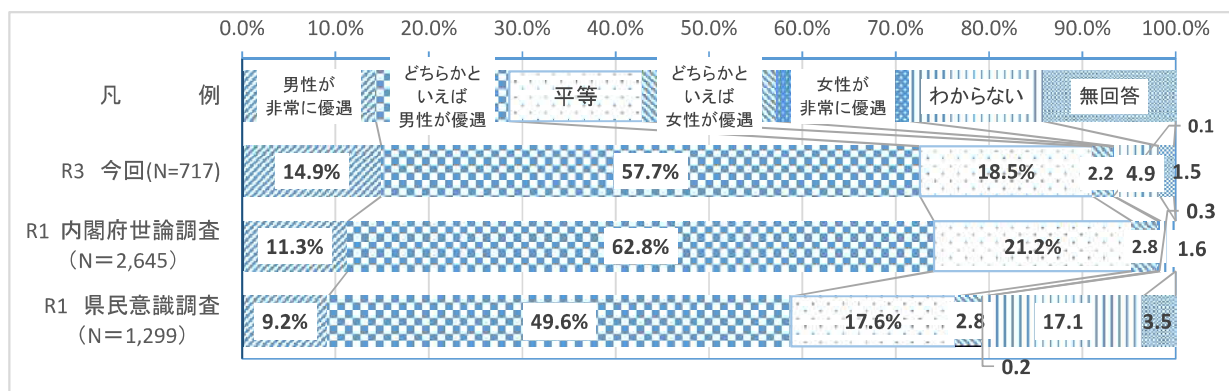


<前々回との比較>



※前回 (H27) 調査項目なし。

<他統計結果との比較>



【全体】

- 社会全体においては、『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合が **72.6%** を占める。
「平等」が **18.5%**、『女性の方が優遇されている』が **2.3%** となっている。

【階層別傾向】

<性別>

- 「平等」と回答した人の割合は「男性」で **23.9%** となっており、「女性」の **14.8%** を **9.1** ポイント上回っている。

<年代別>

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は、どの年代でも総じて高いが、特に「**40 歳代**」が **80.2%** となり、他の年代と比べて最も高くなっている。
- 「平等」と回答した人の割合は「**20 歳代**」が **31.7%**、「**30 歳代**」が **23.1%** と、若い世代で高くなっている。

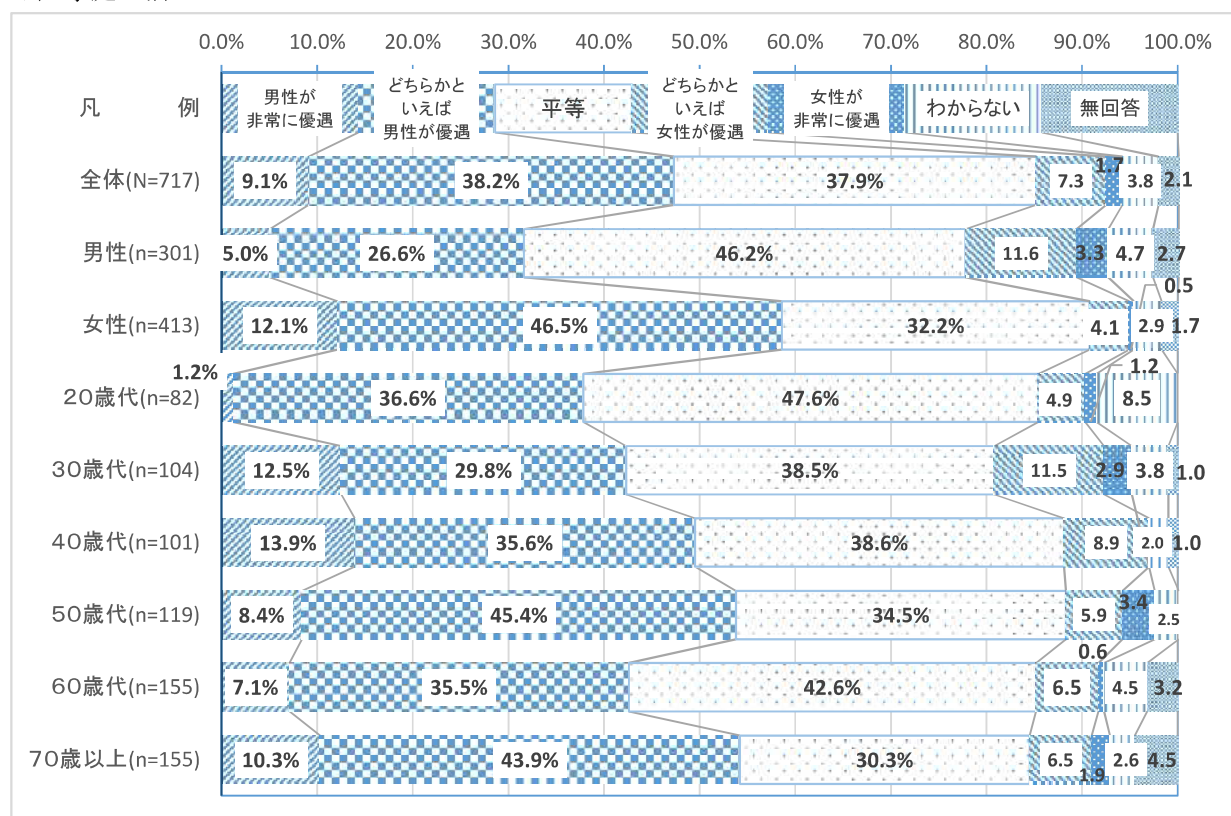
【前々回との比較】

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は **72.6%** となっており、前々回より **5.0** ポイント増となっている。

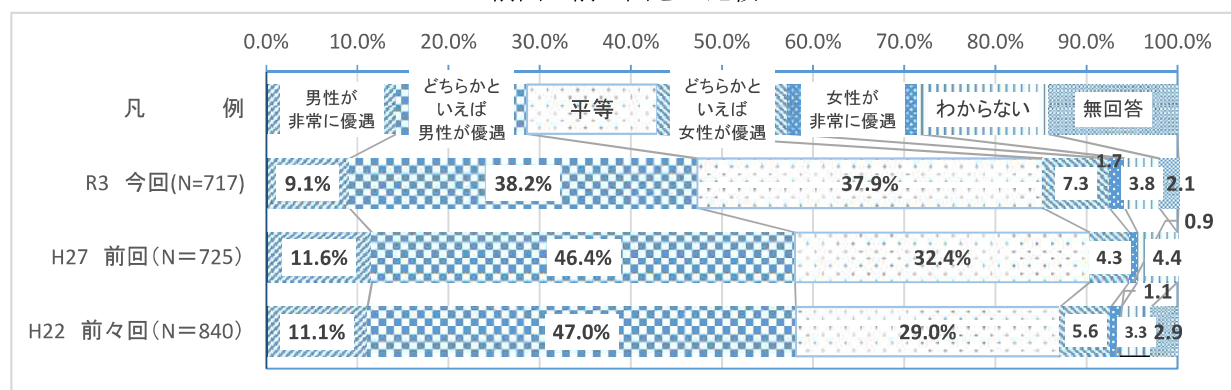
【他統計結果との比較】

- 調査法と調査票が異なるので単純比較はできないが、令和元年に実施された内閣府による世論調査・県民意識調査と比較すると、本市の「平等」と回答した人の割合は、全国と比較して **2.7** ポイントと低くなっている。県と比較して **0.9** ポイント高くなっている。

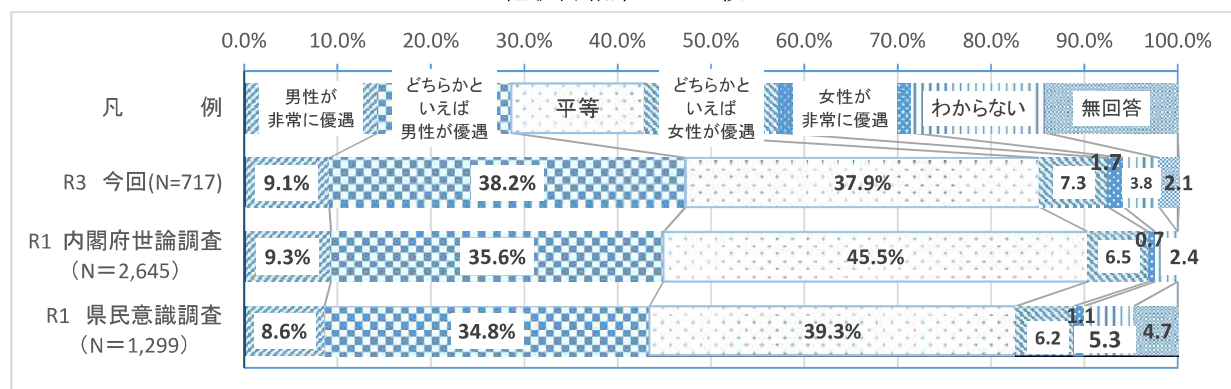
イ) 家庭生活では



<前回・前々回との比較>



<他統計結果との比較>



【全体】

○家庭生活においては、『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合が 47.3%と最も高く、「平等」が 37.9%、『女性の方が優遇されている』が 9.0%となっている。

【階層別傾向】

<性別>

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は「女性」で 58.6%となっており、「男性」の 31.6%を 27.0 ポイント上回っている。
- 「平等」と回答した人の割合は「男性」で 46.2%となっており、「女性」の 32.2%を 14.0 ポイント上回っている。

<年代別>

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は「70 歳以上」が 54.2%となり、最も高くなっている。
- 「平等」と回答した人の割合は「20 歳代」が 47.6%となり、最も高くなっている。

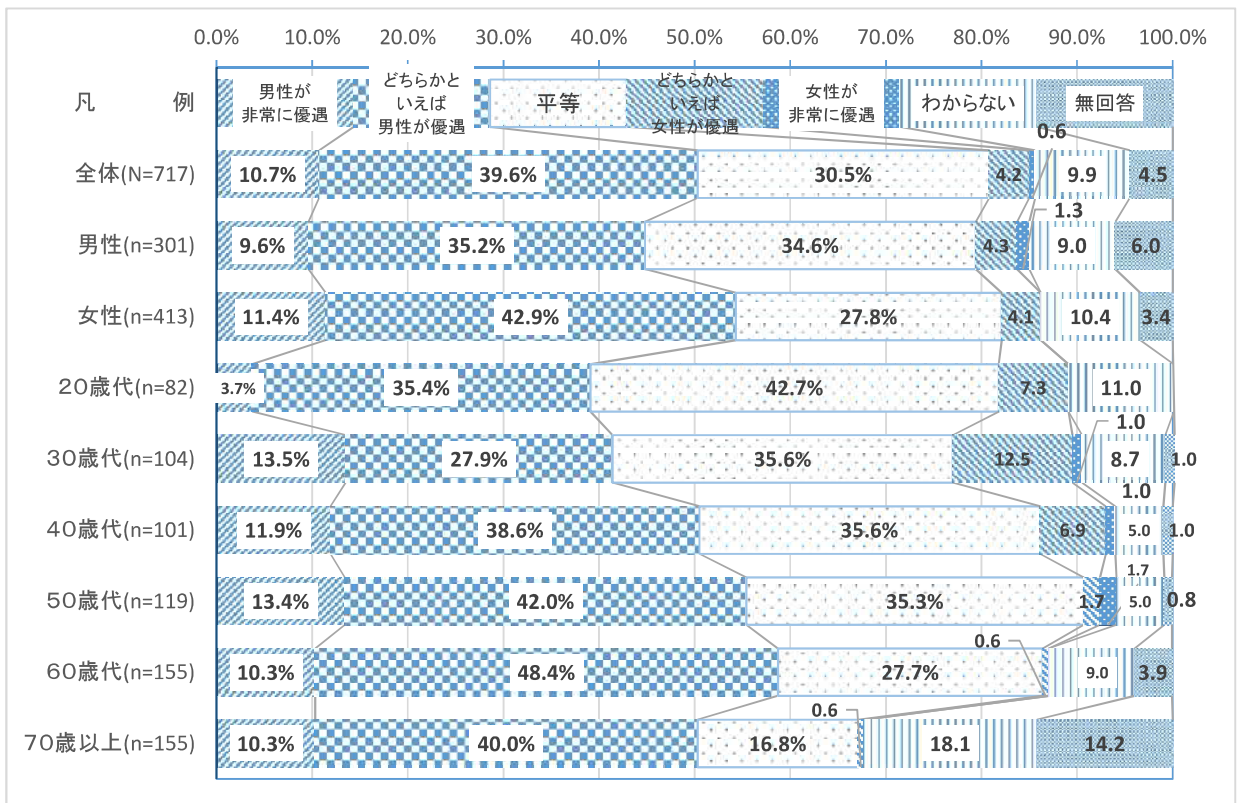
【前回・前々回との比較】

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は、47.3%となっており、前回比 10.7 ポイント減、前々回比 10.8 ポイント減と減少傾向にある。

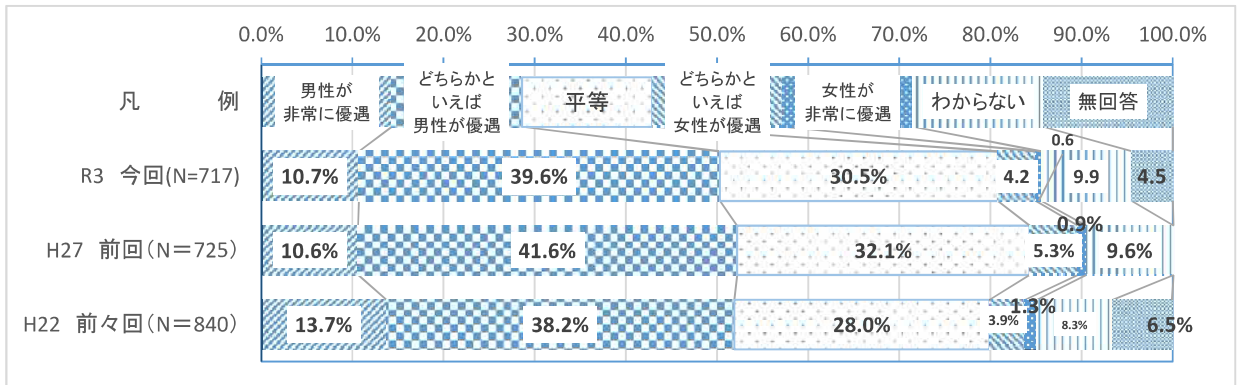
【他統計結果との比較】

- 令和元年に実施された内閣府による世論調査・県民意識調査と比較すると、本市の「平等」と回答した人の割合は、全国と比較して 7.6 ポイント低くなっている。県と比較して 1.4 ポイント低くなっている。

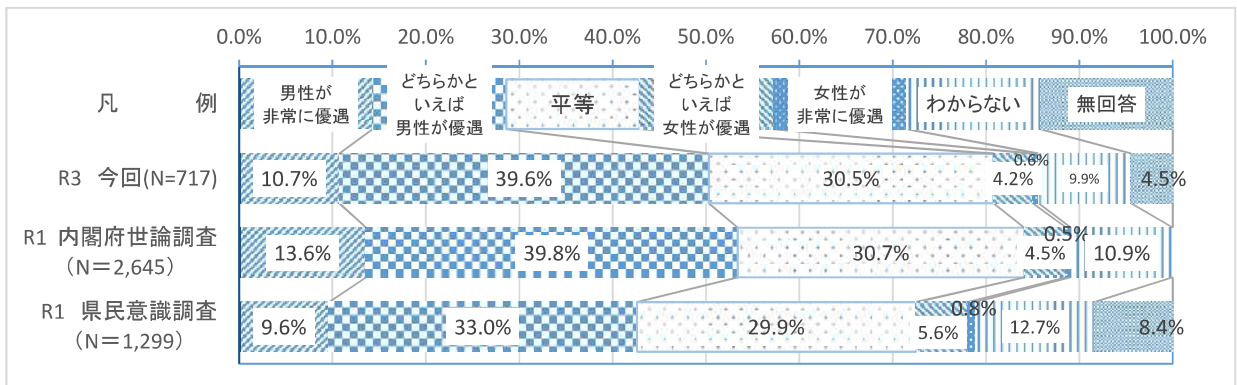
ウ) 職場では



<前回・前々回との比較>



<他統計結果との比較>



【全体】

○職場においては、『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合が 50.3%と最も高く、「平等」が 30.5%、『女性の方が優遇されている』が 4.8%となっている。

【階層別傾向】

<性別>

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は「女性」で 54.3%となっており、「男性」の 44.8%を 9.5 ポイント上回っている。
- 「平等」と回答した人の割合は「男性」で 34.6%となっており、「女性」の 27.8%を 6.8 ポイント上回っている。

<年代別>

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は「60 歳代」が 58.7%となり、最も高くなっている。
- 「平等」と回答した人の割合は「20 歳代」が 42.7%となり、最も高くなっている。

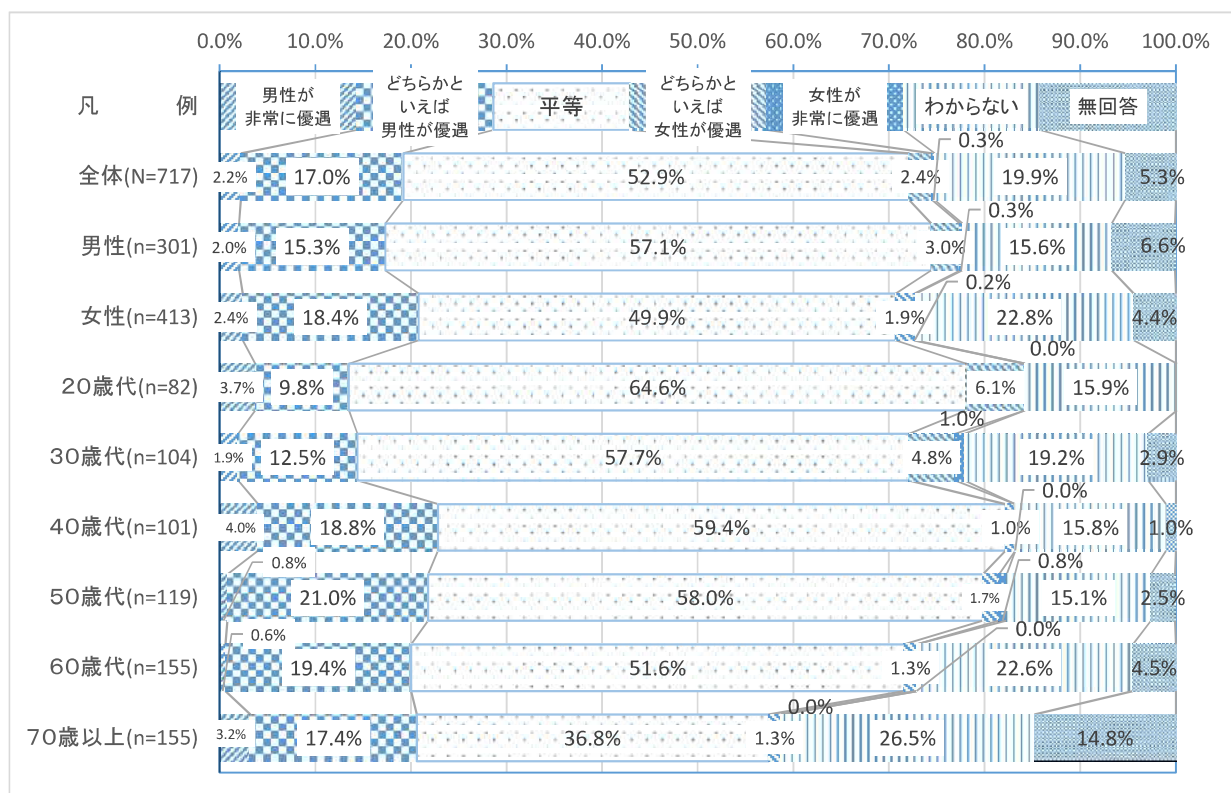
【前回・前々回との比較】

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は 50.3%となっており、前回比 1.9 ポイント減、前々回比 1.6 ポイント減となっている。

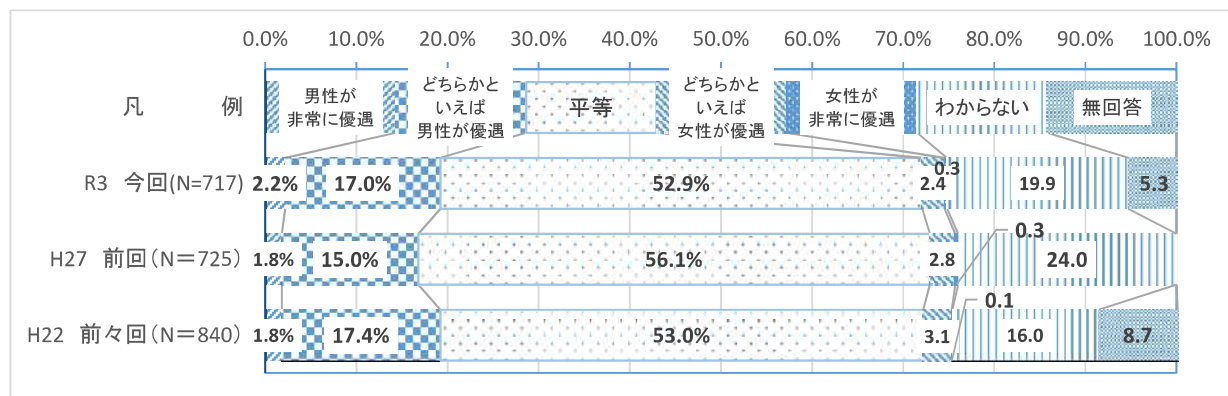
【他統計結果との比較】

- 令和元年に実施された内閣府による世論調査・県民意識調査と比較すると、本市の「平等」と回答した人の割合は全国と比較して 0.2 ポイント低くなっている。県と比較して 0.6 ポイント高くなっている。

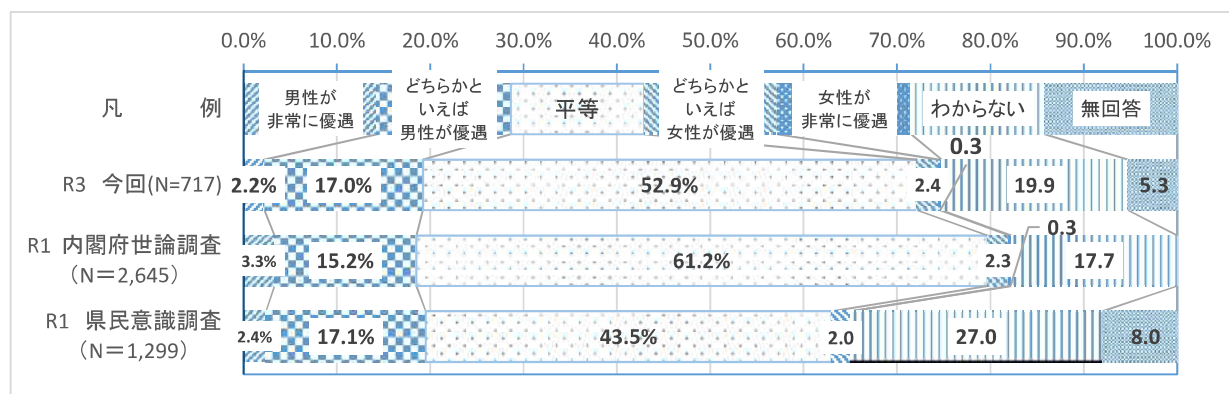
エ) 学校教育の場では



< 前々回調査との比較 >



< 他統計結果との比較 >



【全体】

○学校教育の場においては、「平等」と回答した人の割合が **52.9%**と最も高く、『男性の方が優遇されている』が **19.2%**、『女性の方が優遇されている』が **2.7%**となっている。

【階層別傾向】

<性別>

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は、「女性」で **20.8%**となっており、「男性」の **17.3%**を **3.5**ポイント上回っている。
- 「平等」と回答した人の割合は「男性」で **57.1%**となっており、「女性」の **49.9%**を **7.2**ポイント上回っている。

<年代別>

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は「**40 歳代**」が **22.8%**となり、最も高くなっている。
- 「平等」と回答した人の割合は「**20 歳代**」が **64.6%**となり、最も高くなっている。

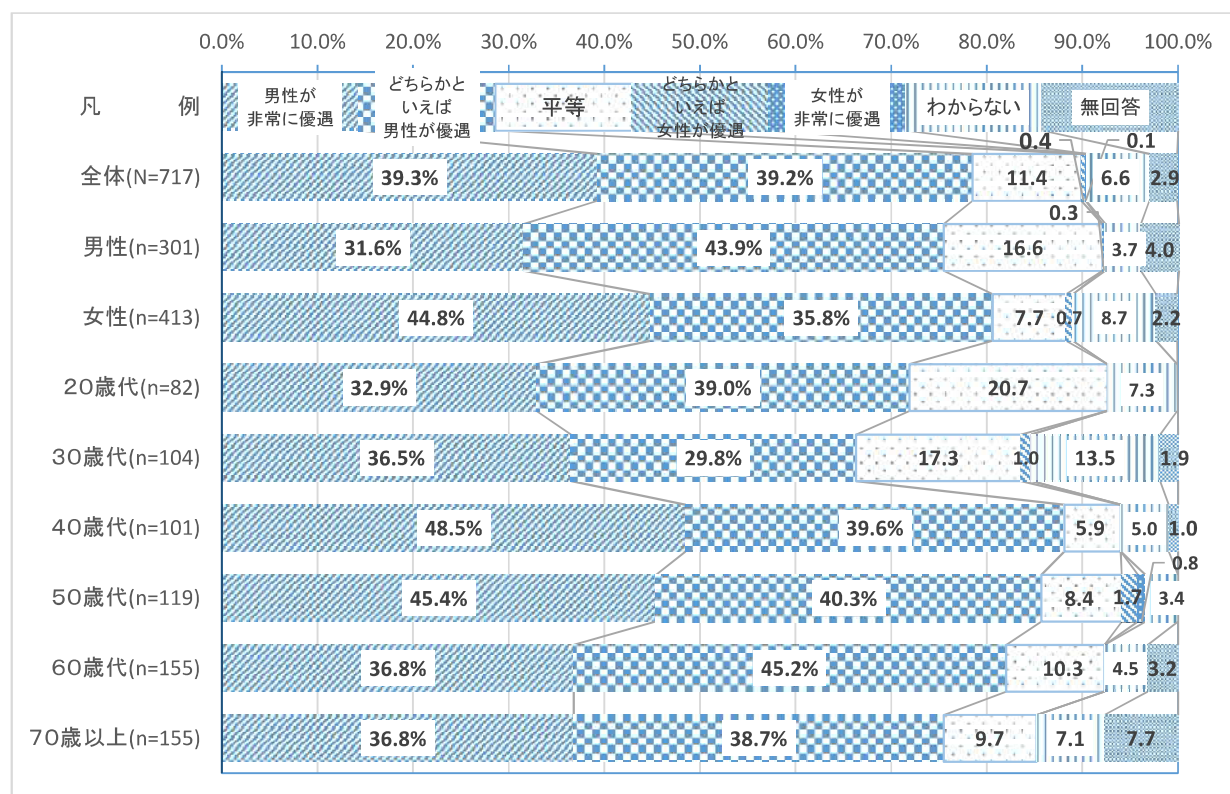
【前回・前々回との比較】

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は **19.2%**となっており、前回比 **2.4**ポイント増、前々回比とは同じ割合となっている。

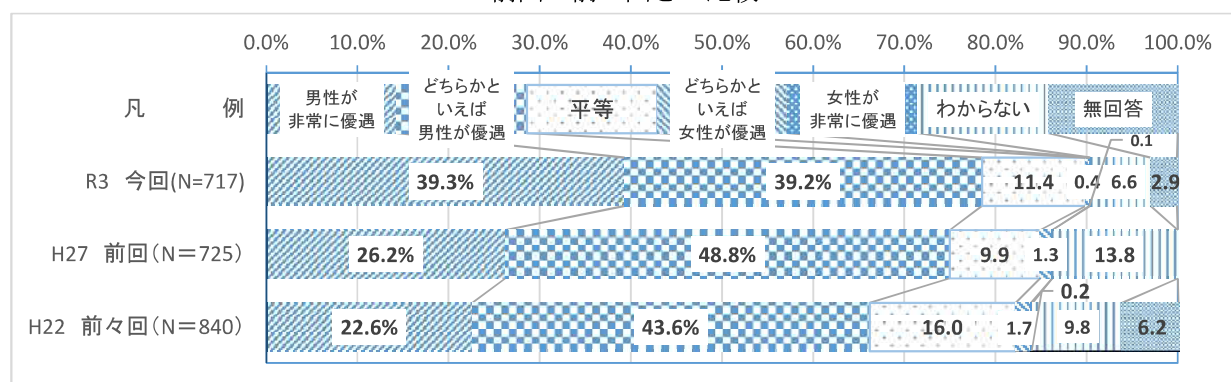
【他統計結果との比較】

- 令和元年に実施された内閣府による世論調査・県民意識調査と比較すると、本市の「平等」と回答した人の割合は、全国と比較して **8.3**ポイント低くなっている。県と比較して **9.4**ポイント高くなっている。

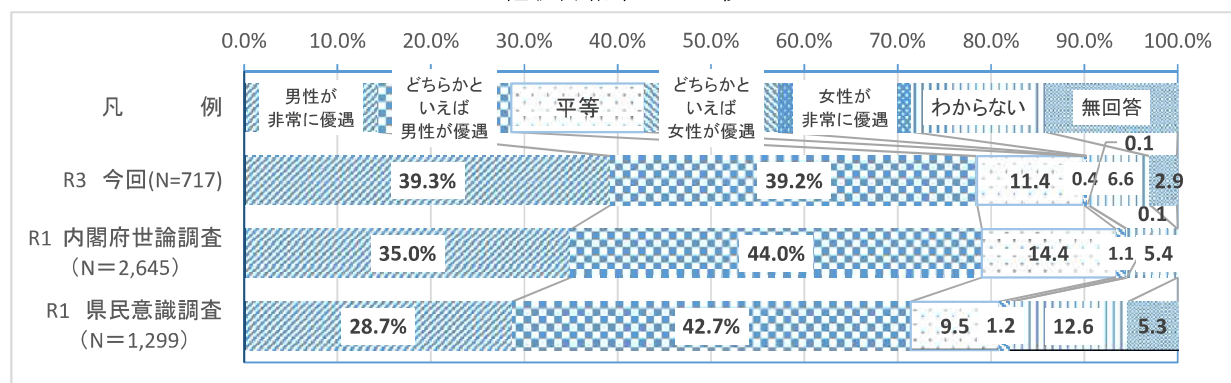
オ) 政治の場では



<前回・前々回との比較>



<他統計結果との比較>



【全体】

○政治の場においては、『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合が **78.5%**と最も高く、「平等」が **11.4%**、『女性の方が優遇されている』が **0.5%**となっている。

【階層別傾向】

<性別>

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は「女性」で **80.6%**となっており、「男性」の **75.5%**を **5.1** ポイント上回っている。
- 「平等」と回答した人の割合は「男性」で **16.6%**となっており、「女性」の **7.7%**を **8.9** ポイント上回っている。

<年代別>

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は「**40 歳代**」で **88.1%**となり、最も高くなっている。
- 「平等」と回答した人の割合は「**20 歳代**」が **20.7%**となり、最も高くなっている。

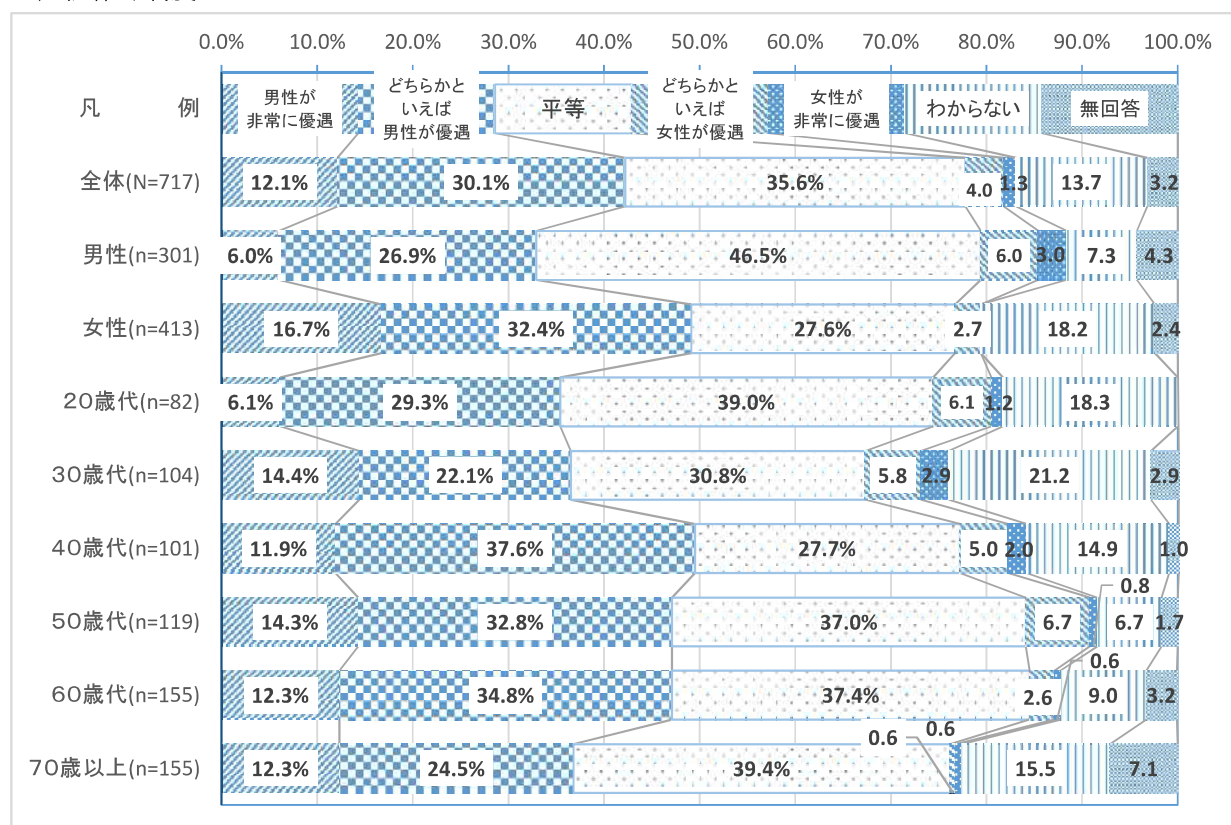
【前回・前々回との比較】

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は **78.5%**となっており、前回比 **3.5** ポイント増、前々回比 **12.3** ポイント増となっている。

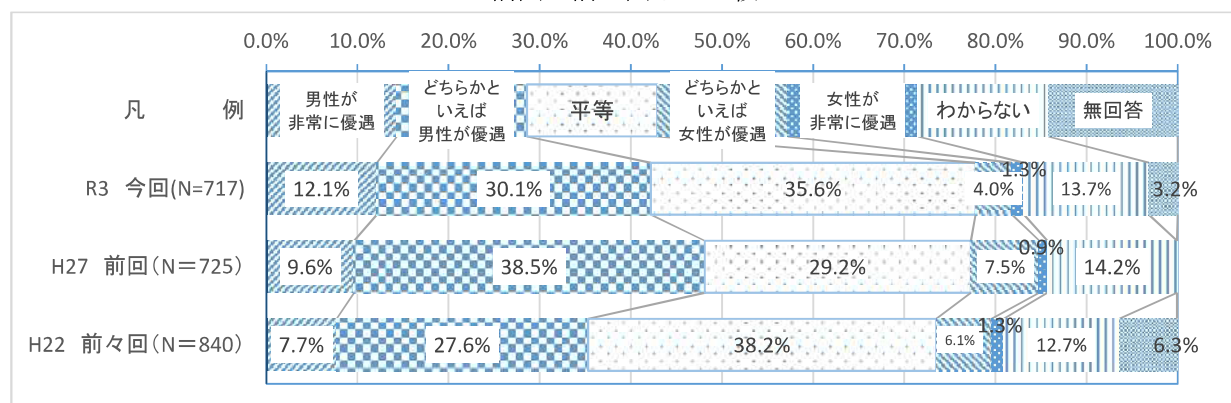
【他統計結果との比較】

- 令和元年に実施された内閣府による世論調査・県民意識調査と比較すると、本市の「平等」と回答した人の割合は、全国と比較して **3.0** ポイント低くなっている。県と比較して **1.9** ポイント高くなっている。

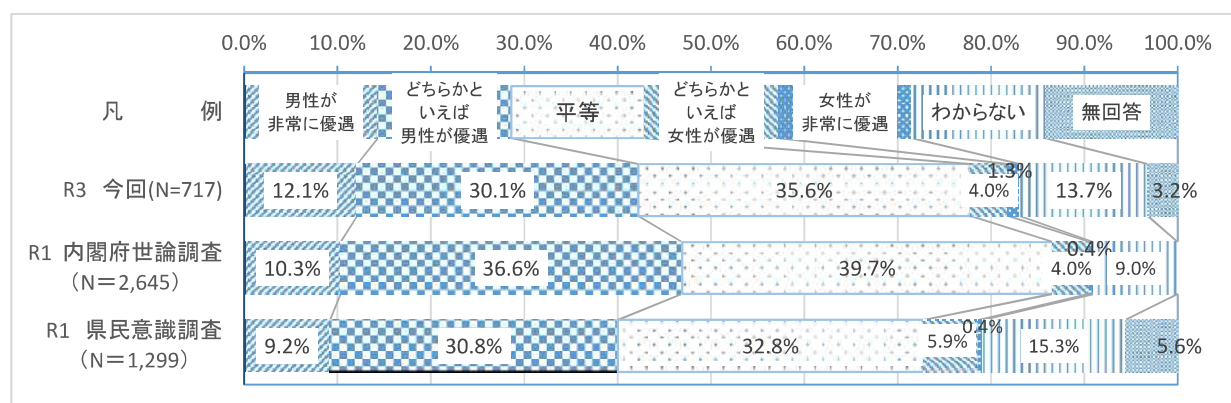
カ) 法律や制度上では



<前回・前々回との比較>



<他統計結果との比較>



【全体】

○法律や制度上においては、『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合が **42.2%**と最も高く、「平等」が **35.6%**、『女性の方が優遇されている』が **5.3%**となっている。

【階層別傾向】

<性別>

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は「女性」で **49.1%**となっており、「男性」の **32.9%**を **16.2**ポイント上回っている。
- 「平等」と回答した人の割合は「男性」で **46.5%**となっており、「女性」の **27.6%**を **18.9**ポイント上回っている。

<年代別>

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は「**40 歳代**」で **49.5%**となり、最も高くなっている。
- 「平等」と回答した人の割合は「**70 歳以上**」が **39.4%**となり、最も高くなっている。

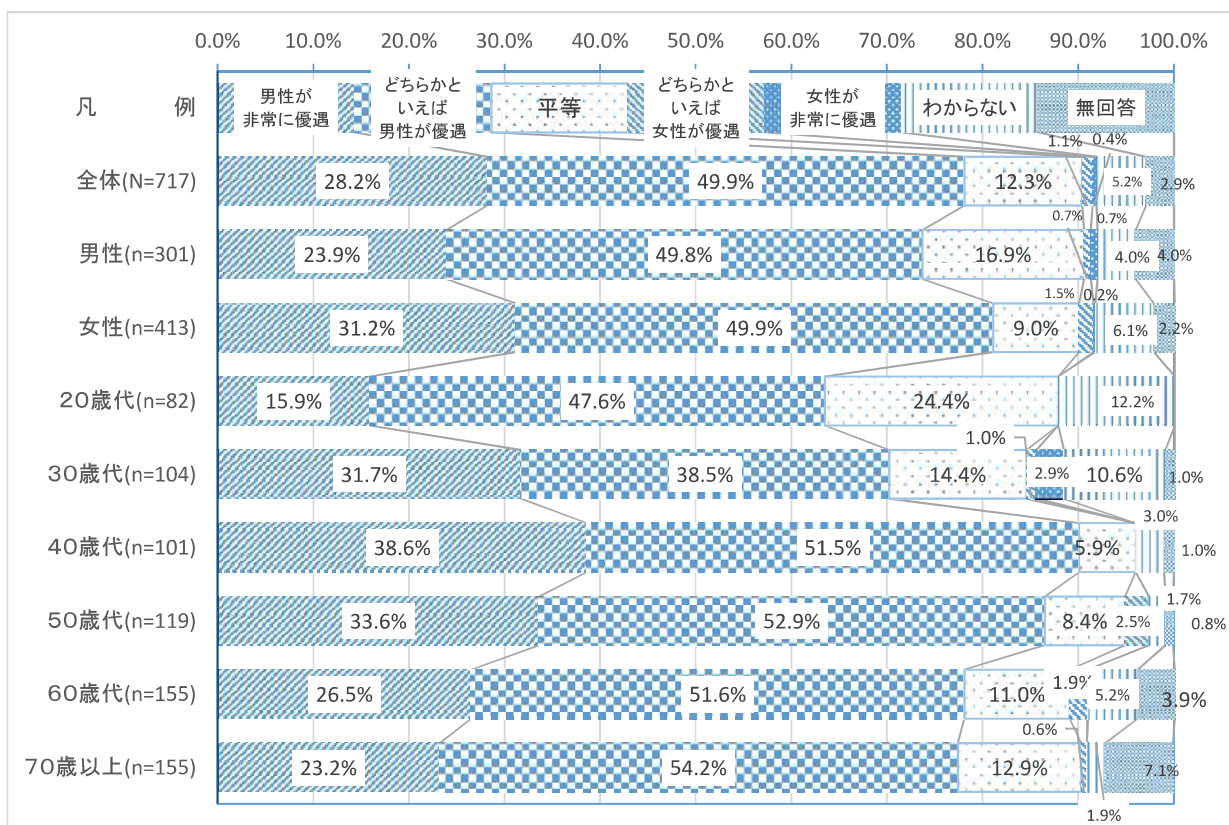
【前回・前々回との比較】

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は **42.2%**となっており、前回比 **5.9**ポイント減、前々回比 **6.9**ポイント増となっている。

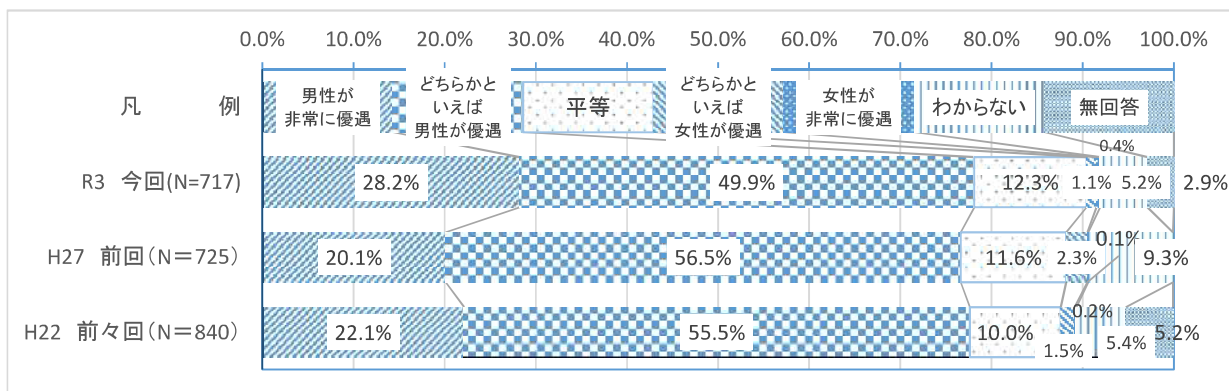
【他統計結果との比較】

- 令和元年に実施された内閣府による世論調査・県民意識調査と比較すると、本市の「平等」と回答した人の割合は、全国と比較して **4.1**ポイント低くなっている。県と比較して、**2.8**ポイント高くなっている。

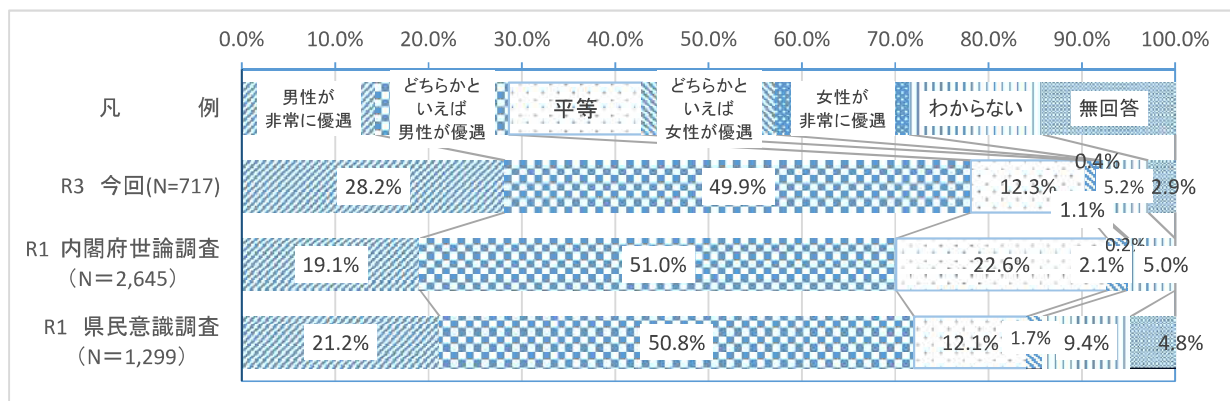
キ) 社会通念・慣習・しきたりでは



<前回・前々回との比較>



<他統計結果との比較>



【全体】

- 社会通念・慣習・しきたりにおいては、『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合が78.1%と最も高く、「平等」が12.3%、『女性の方が優遇されている』が1.5%となっている。

【階層別傾向】

<性別>

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は「女性」で81.1%となっており、「男性」の73.7%を7.4ポイント上回っている。
- 「平等」と回答した人の割合は「男性」で16.9%となっており、「女性」の9.0%を7.9ポイント上回っている。

<年代別>

- 「平等」と回答した人の割合は「20歳代」が24.4%となり、最も高くなっている。
- 「20歳代」で『男性の方が優遇されている』が63.5%となり、最も低くなっている。

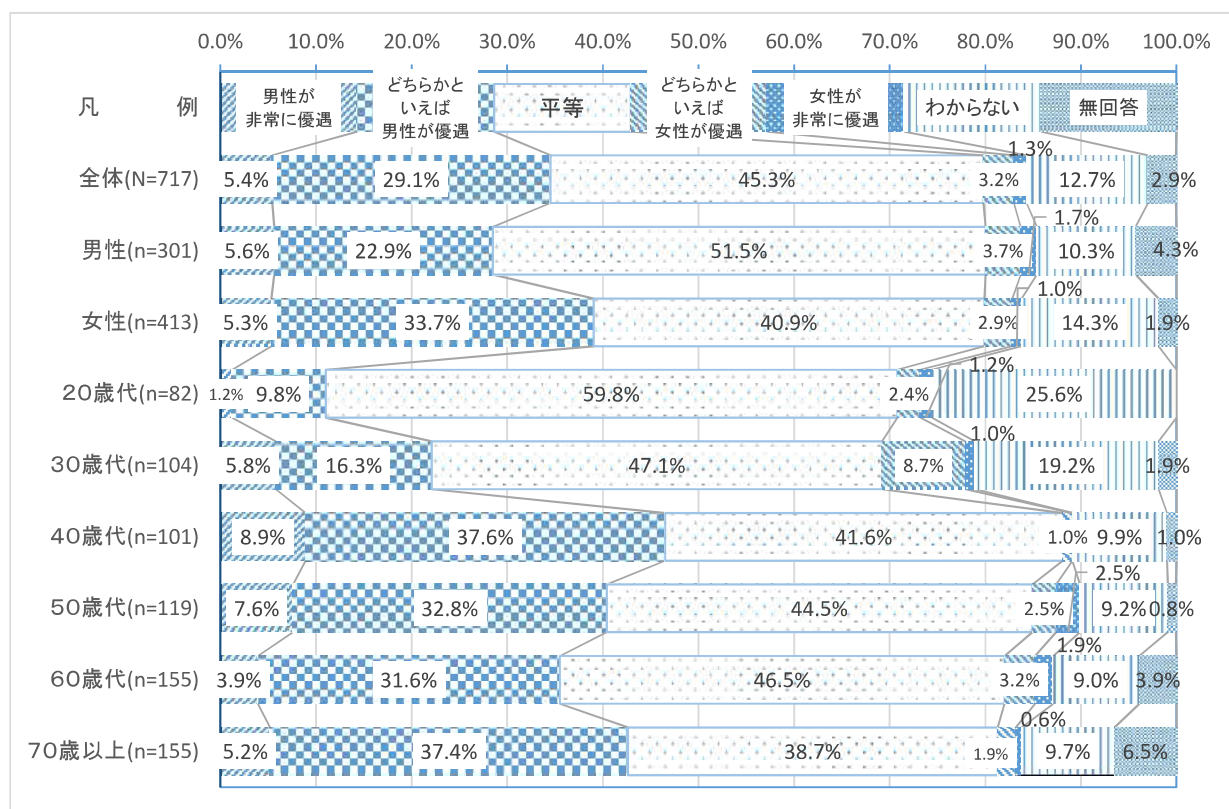
【前回・前々回との比較】

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は78.1%となっており、前回比1.5ポイント増、前々回比0.5ポイント増となっている。

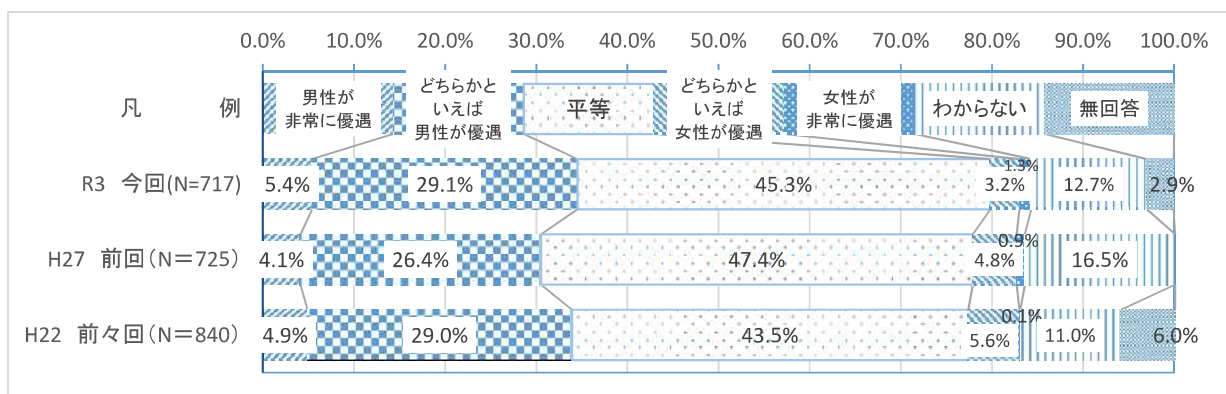
【他統計結果との比較】

- 令和元年に実施された内閣府による世論調査・県民意識調査と比較すると、本市の「平等」と回答した人の割合は、全国と比較して10.3ポイント低くなっている。県と比較して、0.2ポイント高くなっている。

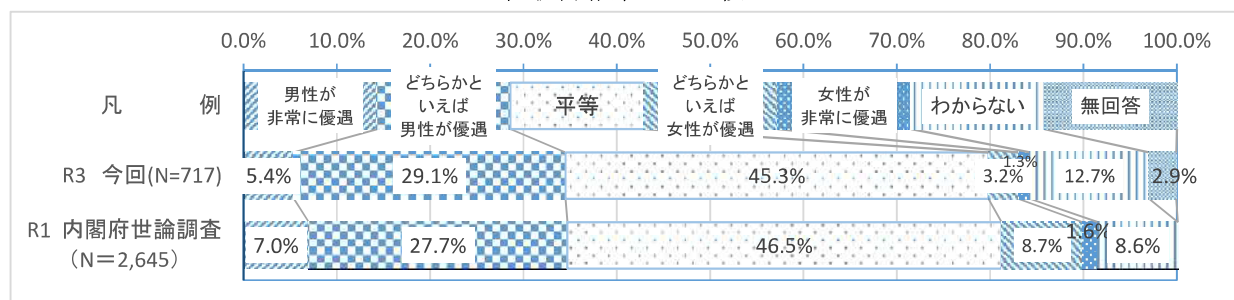
ク) 地域活動（自治会やNPO、ボランティア活動など）では



<前回・前々回との比較>



<他統計結果との比較>



【全体】

- 地域活動（自治会やNPO、ボランティア活動など）においては、「平等」と回答した人の割合が45.3%と最も高く、『男性の方が優遇されている』が34.5%、『女性の方が優遇されている』が4.5%となっている。

【階層別傾向】

<性別>

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は「女性」で39.0%となっており、「男性」の28.5%を10.5ポイント上回っている。
- 「平等」と回答した人の割合は「男性」で51.5%となっており、「女性」の40.9%を10.6ポイント上回っている。

<年代別>

- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は「40歳代」が46.5%となり、最も高くなっている。
- 「平等」と回答した人の割合は「20歳代」が59.8%となり、最も高くなっている。

【前回・前々回との比較】

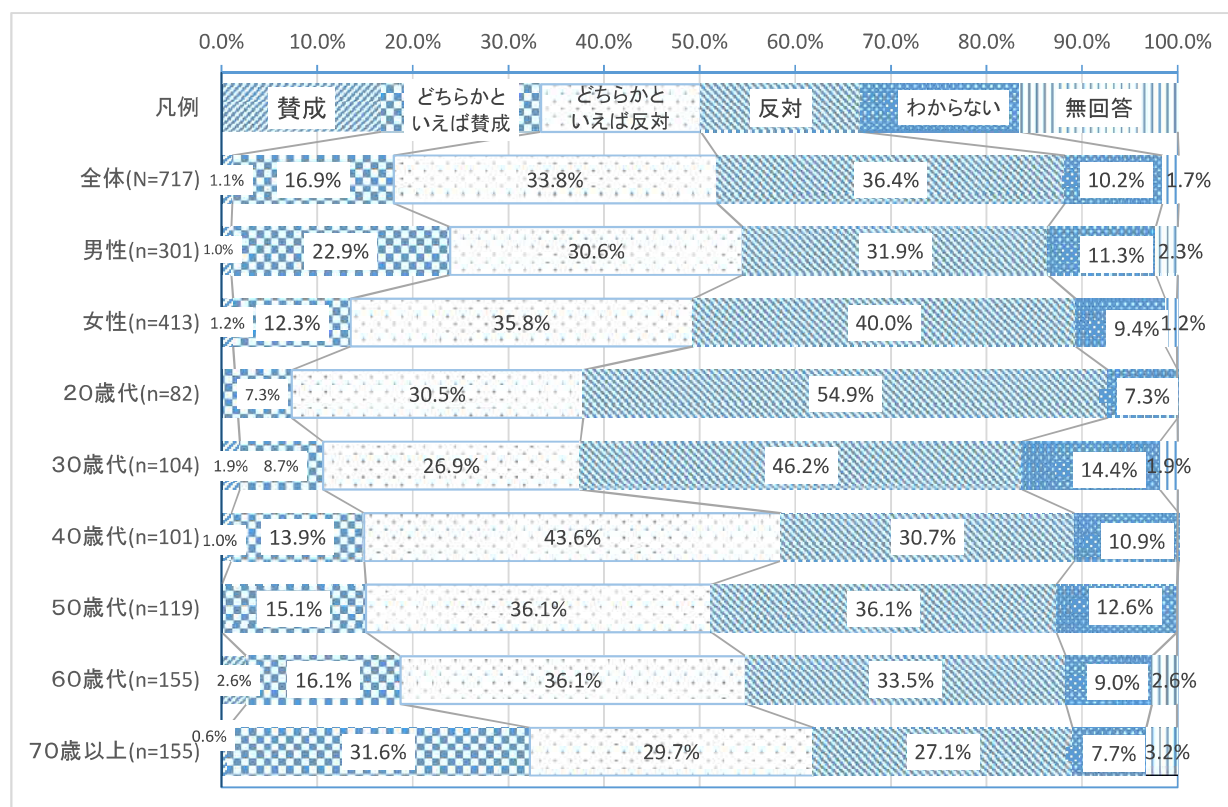
- 『男性の方が優遇されている』と回答した人の割合は34.5%となっており、前回比4.0ポイント増、前々回比0.6ポイント増となっている。

【他統計結果との比較】

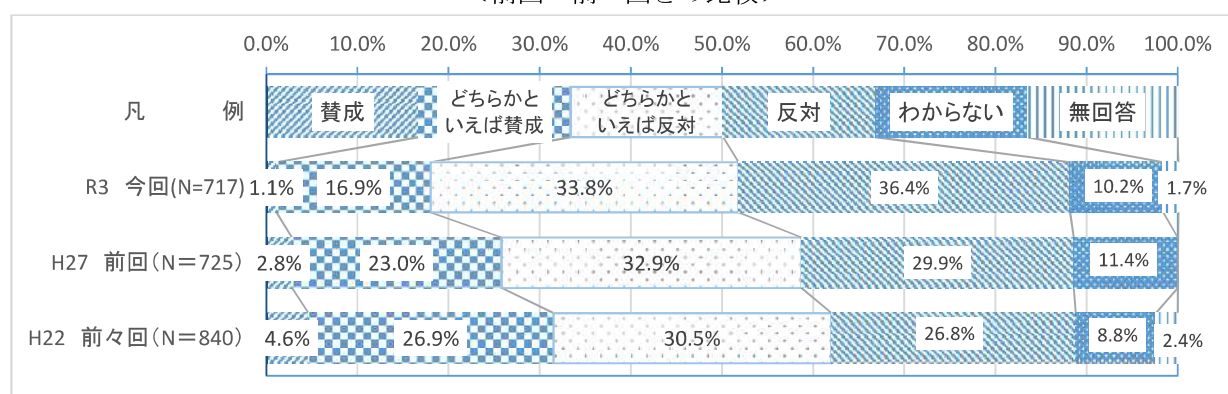
- 令和元年に実施された内閣府による世論調査と比較すると、本市の「平等」と回答した人の割合は、全国と比較して1.2ポイント低くなっている。

(2) 固定的性別役割分担意識

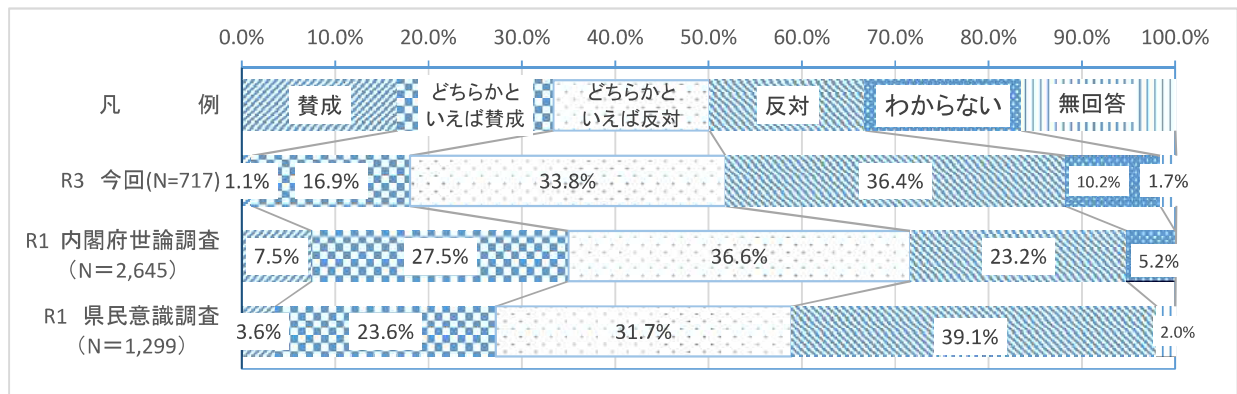
問9 あなたは、「男は仕事、女は家庭」などと性別によって役割を固定する考え方についてどう思いますか。次の中から1つだけ選んで○で囲んでください。



<前回・前々回との比較>



<他統計結果との比較>



※R1 県民意識調査は「わからない」の選択肢がない。

【全体】

○『反対』と回答した人の割合が **70.2%**、『賛成』が **18.0%**となっている。

※『賛成（反対）』＝「賛成（反対）」＋「どちらかといえば賛成（どちらかといえば反対）」（以下、特に断りのない限り同様とする。）

【階層別傾向】

<性別>

○『反対』と回答した人の割合は「男性」**62.5%**となっており、「女性」の**75.8%**を**13.3**ポイント下回っている。

<年代別>

○『賛成』と回答した人の割合は「**70 歳代以上**」が**32.2%**となり、最も高くなっている。

○『反対』と回答した人の割合は「**20 歳代**」が**85.4%**となり、最も高くなっている。

【前回・前々回との比較】

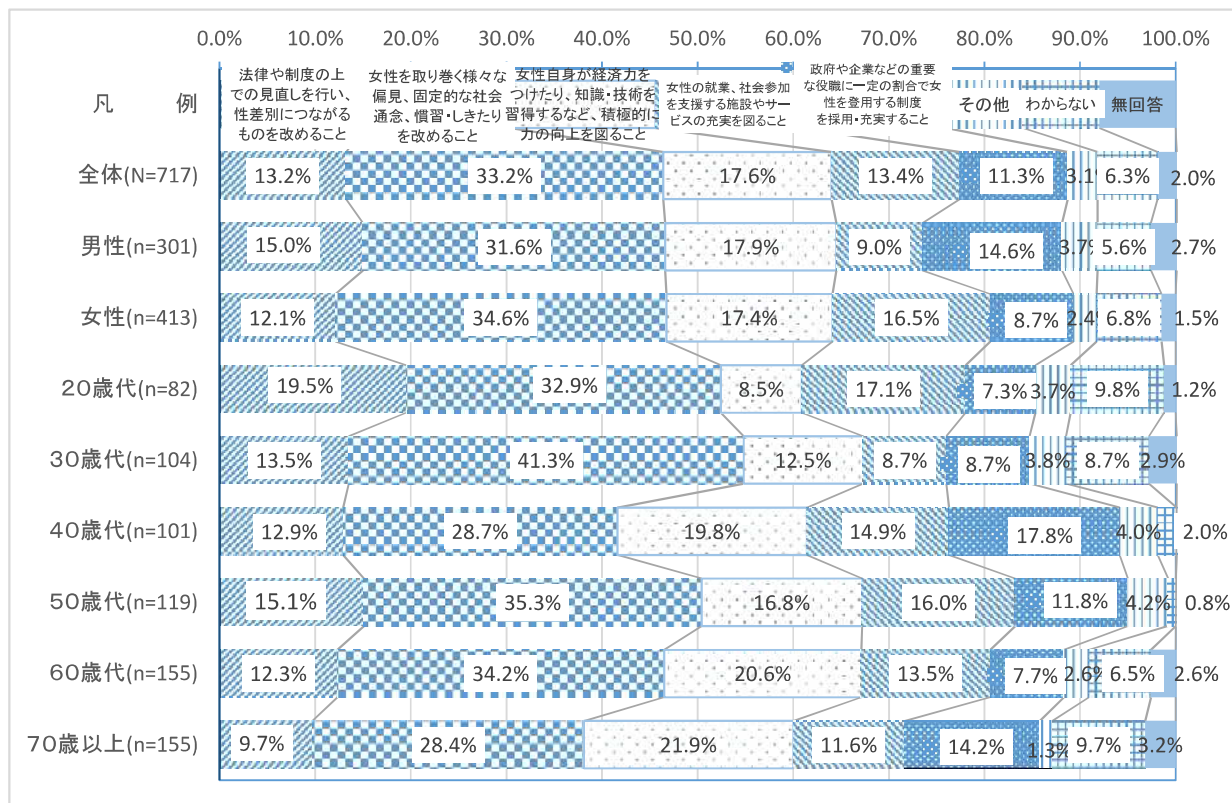
○『反対』と回答した人の割合は **70.2%**となっており、前回比 **7.4**ポイント増、前々回比 **12.9**ポイント増と増加傾向にある。

【他統計結果との比較】

○令和元年に実施された内閣府による世論調査・県民意識調査と比較すると、本市の「賛成」と回答した人の割合は、全国と比較して **17.0**ポイント、県と比較して **9.2**ポイントと低くなっている。

(3) 男女があらゆる分野でもっと平等になるために重要なこと

問 10 あなたは、男女があらゆる分野でもっと平等になるためには何が最も重要だと思いますか。
次の中から 1 つだけ選んでください。



【全体】

○「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」と回答した人の割合が **33.2%** で最も高く、次いで「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること」が **17.6%** となっている。

【階層別傾向】

<性別>

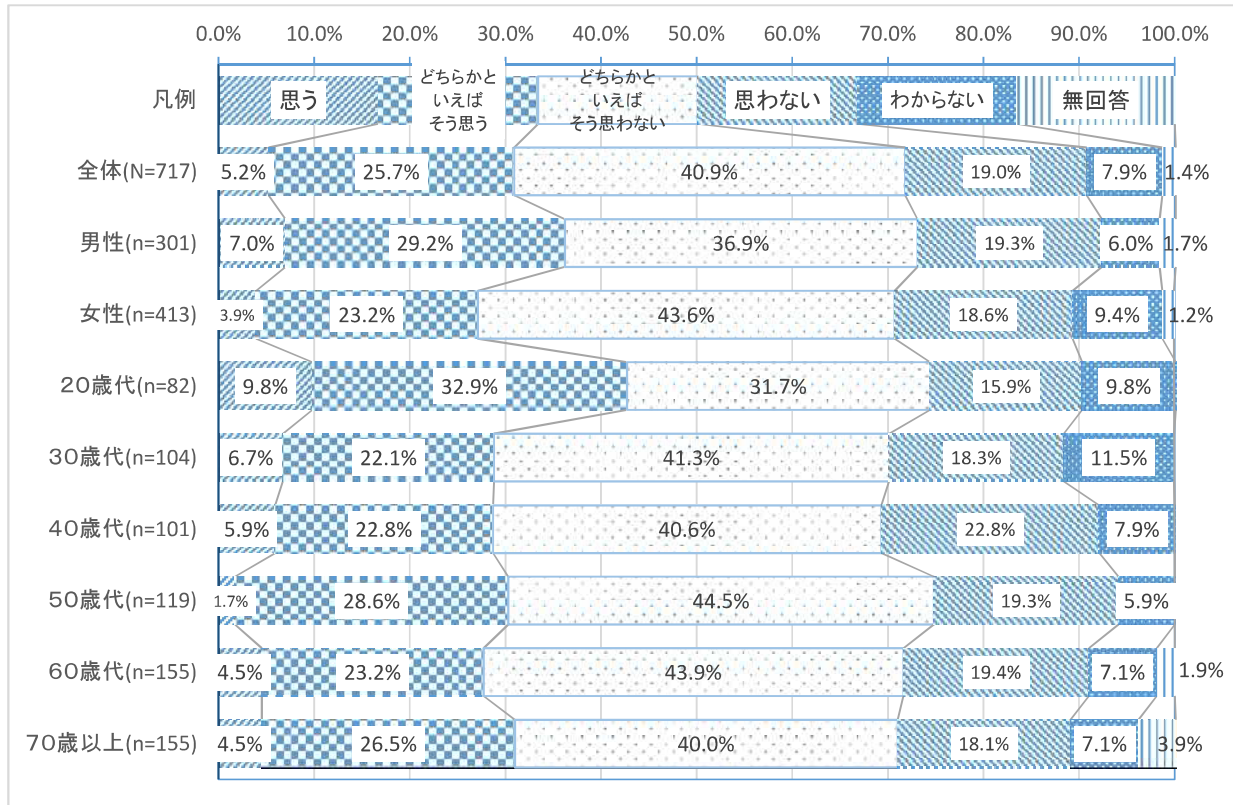
○「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」と回答した人の割合は「男性」**9.0%** に対し、「女性」**16.5%** で男性を **7.5** ポイント上回っている。一方、「政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること」と回答した人の割合は「男性」**14.6%** で「女性」の **8.7%** を **5.9** ポイント上回っている。

<年代別>

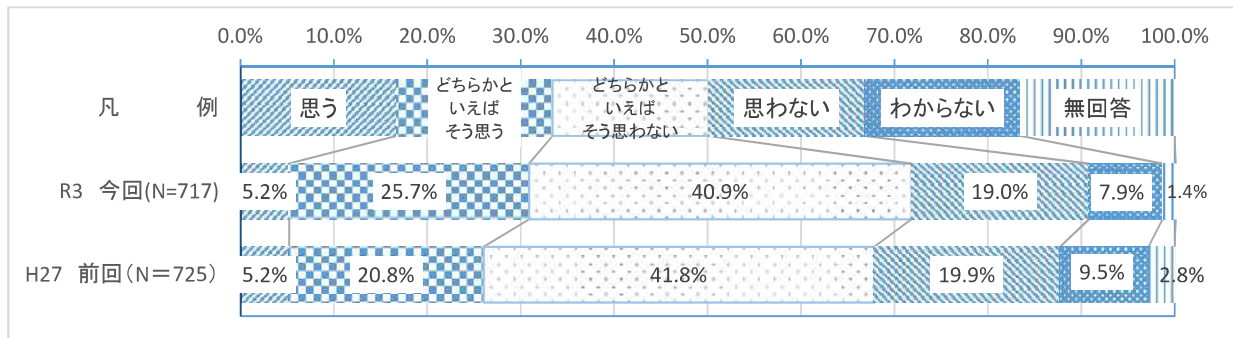
○「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」と回答した人の割合は「**30 歳代**」が **41.3%** で、最も高くなっている。

(4) 性別にかかわらず性の確保

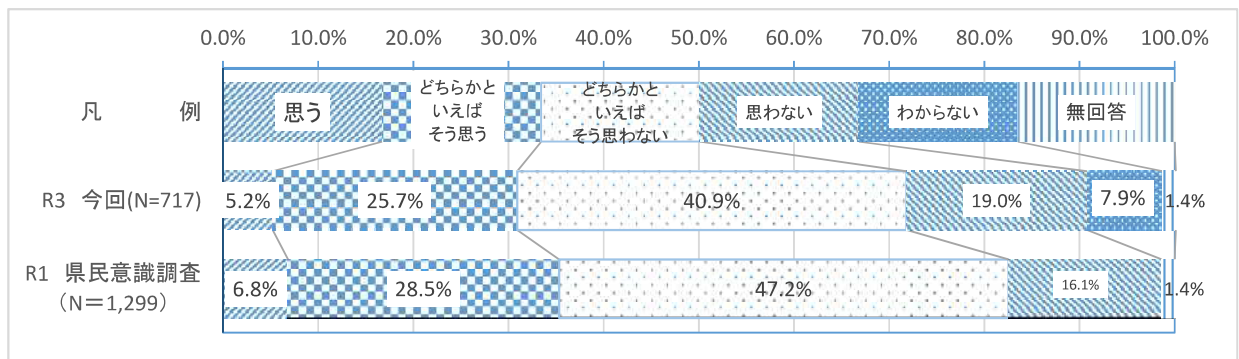
問 1 1 あなたは、男女が性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会が実現されていると思いますか。次の中から 1 つだけ選んで○で囲んでください。



<前回との比較>



＜他統計結果との比較＞



※R1 県民意識調査は「わからない」の選択肢がない。

【全体】

○『思わない』と回答した人の割合が **59.9%**、『思う』が **30.9%**となっている。

※『思う（又は思わない）』＝「思う（又は思わない）」＋「どちらかといえば思う（又はどちらかといえば思わない）」（以下、特に断りのない限り同様とする。）

【階層別傾向】

＜性別＞

○『思わない』と回答した人の割合は「男性」**56.2%**となっており、「女性」の**62.2%**を**6.0**ポイント下回っている。

＜年代別＞

○『思う』と回答した人の割合は「**20 歳代**」が**42.7%**となり、最も高くなっている。

○『思わない』と回答した人の割合は「**50 歳代**」が**63.8%**となり、最も高くなっている。

【前回との比較】

○『思わない』と回答した人の割合は **59.9%**となっており、前回比 **1.8**ポイント減となっている。

【他統計結果との比較】

○令和元年に実施された県民意識調査と比較すると、本市の「思う」と回答した人の割合は、県と比較して**4.4**ポイント低くなっている。